

# 平成29年度出雲市ーフィンランド共和国カラヨキ市相互派遣交流事業 (第17回交流の架け橋事業) 実施要綱

## 1. 目的

出雲市とフィンランド共和国カラヨキ市の中学生・高校生を互いに派遣しあい、ホームステイ等をしながら、それぞれの地域の現状や暮らし等を視察研修させ理解を深める。また親善交歓を通じて、国際感覚豊かな人材育成により青少年活動の活性化を図る。

## 2. 主催

出雲市、NPO法人出雲フィンランド協会、フィンランド共和国カラヨキ市

## 3. 事業の概要

### (1) 出雲市からフィンランド共和国カラヨキ市への派遣

#### 【派遣期間】

平成29年8月9日(水)～20日(日) 12日間

#### 【派遣団】

団長1名、管理団員1名、通訳1名

一般団員 出雲市在住の中学生10名・高校生2名程度

団長、管理団員は市長、協会理事長が指名する。一般団員は別紙「平成29年度出雲市ーフィンランド共和国カラヨキ市相互派遣交流事業(第17回交流の架け橋事業)団員募集要領」により募集し決定する。

#### 【派遣先での活動】

フィンランド共和国カラヨキ市における学校生活、自然体験、文化活動等を通じ、教育文化の現況について理解を深めるための視察研修を行う他、ホームステイを行い一般家庭生活を体験する。また、現地生徒や各種団体等との交流等を通じて相互理解を深める。

現地における活動(行動)、ホームステイ等は、上記の目的を達成するために、フィンランド共和国カラヨキ市で計画したものによって行う。

### (2) フィンランド共和国カラヨキ市から出雲市への招致

#### 【招致期間】(予定)

平成29年10月中旬から下旬(10日間程度)

#### 【招致団】

団長1名、一般団員(カラヨキ市在住の中高生)10名程度

[招致団については、フィンランド共和国カラヨキ市で決定する。]

#### 【出雲市内の活動】

出雲市内におけるボランティア活動(福祉活動を含む)、学校生活、環境保全の教育と現況について理解を深めるため、社会福祉、教育、環境等に関する視察研修を行う他、ホームステイを行い一般家庭生活を体験する。また、市内中高生や各種団体等との交流等を通じて相互理解を深める。

当地における活動(行動)、ホームステイ等は、上記の目的を達成するために出雲市及びNPO法人出雲フィンランド協会で計画したものによって行う。

また、このため派遣事業参加者はホームステイの受け入れの協力を行う。

#### 4. 事前研修等

##### ア. 出雲市からの派遣団員に対する研修

団員としての心構え及びカラヨキ市の事情等について必要な研修を行う。また帰国後、報告書の作成や研修の成果を事後活動に反映させるための研修を行う。

##### イ. フィンランド共和国カラヨキ市からの招致団員に対する研修

団員としての心構え及び出雲市の事情等について必要な研修をフィンランド共和国カラヨキ市で行う。

#### 5. 費用の負担

##### 出雲市からフィンランド共和国カラヨキ市への派遣

① 派遣に要する費用は次のとおり負担する。

団員は、補助金を除いて15万円程度

派遣に要する費用の1/2をNPO法人出雲フィンランド協会より補助する。  
但し、補助金の上限を15万円とする。出発前に15万円（派遣に要する費用の1/2程度）を支払うものとする。帰国後、派遣に要する費用の総額を精算する。（派遣に要する費用とは、国際線航空運賃、空港税及び施設使用料、燃油サーチャージ、国内及びヘルシンキ市内移動旅費、関西空港周辺とヘルシンキ市内における宿泊費及び食費等）  
なお、パスポート取得費用、旅行保険、訪問先への土産等については、別途個人負担とする。

過去に当協会の補助金により本事業に参加された方は、同補助金を受ける事ができません。

② 本人の責に帰すべき疾病または事故による治療費、入院費用等は個人負担とする。

#### 6. 帰国後の活動

派遣団員、招致団員は、視察・研修等の成果を活かし、出雲市、出雲フィンランド協会及びフィンランド共和国カラヨキ市が行う国際交流事業やその他の青少年活動に積極的に参加・協力するものとする。

また、フィンランド共和国カラヨキ市から訪問団を招致する際、ホームステイ受け入れの協力及び交流活動に参加する。

#### 7. 注意事項

(1) 派遣期間中は、原則として個人的な行動は認められない。

(2) 事前研修及び派遣期間中に生じた負傷、疾病については、自己責任とする。

#### 8. 問い合わせ先

出雲市役所総合政策部政策企画課国際交流室 TEL 21-6576 FAX 21-6729

NPO法人出雲フィンランド協会 TEL/FAX 86-2928

# 平成29年度出雲市-フィンランド共和国カラヨキ市相互派遣交流事業 ( 第 1 7 回 交 流 の 架 け 橋 事 業 ) 団 員 募 集 要 領

1. 募集人員 中学生10名程度、高校生2名程度

## 2. 応募資格

- (1) 出雲市内に住所を有する中学生、高校生
- (2) 帰国後活発な国際交流活動その他青少年育成活動を行うことが期待できる者で、視察研修の成果を学校、地域において積極的に生かし、郷土の発展に寄与できる者
- (3) 心身ともに健康で協調性に富み、事前研修、出発準備から帰国後の整理まで、派遣計画に従って規律ある研修及び団体生活のできる者
- (4) 同年10月にフィンランド共和国カラヨキ市から訪問団を招致する際、ホームステイ受け入れの協力及び交流活動に参加できる者

## 3. 応募締め切り

平成29年5月12日（金）

## 4. 提出書類及び提出先

団員に応募しようとする者は、3.に定める応募締め切りまでに、次の書類を学校を通じて、出雲市総合政策部政策企画課国際交流室または NPO 法人出雲フィンランド協会へ提出しなければならない。

- (1) 平成29年度出雲市-フィンランド共和国カラヨキ市相互派遣交流事業団員参加申込書（様式1）
- (2) 保護者の応募承諾書（様式2）
- (3) 学校長の推薦状（様式3）

## 5. 団員の決定等

応募者多数の場合は、抽選により決定する。

その場合、出雲市の補助金によりサンタクララ市への渡航経験のない方を優先とさせていただきますので、ご了承ください。

抽選日程 平成29年5月21日（日）14：00

会 場 多伎コミュニティセンター

団員決定後の取消

ア. 団員に決定した後において、団員として不適当と認められる事由があった場合には、出発前・後を問わず団員としての資格を取消す。出発後の取消は団長がこれを行う。その場合、航空券等の予約取消料は個人負担とする。

イ. 出発後に団員としての資格を取り消された者の帰国に要する経費等は個人負担とする。

## 6. 自己負担金

カラヨキ市訪問にあたり、一人あたり15万円程度の負担が必要となる見込。また、パスポート取得費、旅行保険、お小遣いなどは別途自己負担とする。

※過去に当協会の補助金により本事業に参加された方は、同補助金を受ける事ができません。

(様式1)

平成29年度出雲市－フィンランド共和国カラヨキ市相互派遣交流事業  
(第17回交流の架け橋事業) 参加申込書

平成29年 月 日

出雲市長 様  
NPO法人出雲フィンランド協会 理事長 様

平成29年度出雲市－フィンランド共和国カラヨキ市相互派遣交流事業(第17回交流の架け橋事業)実施要綱及び団員募集要領の内容を理解し下記のとおり参加申込みします。  
(記)

参加申込者氏名	ありがな		性別	
学 校 名			学年	
保 護 者 氏 名				
生 年 月 日	年 月 日 生			
住 所	〒 一			
電 話 番 号				
海 外 渡 航 歴 (直近のものを記入)	(訪問国) (目的) (期間)			
市及び協会の補助金による海外渡航歴の有無	有	・	無	(訪問国)
特 技 等	(語 学)  (スポーツ)  (文化芸能)  (その他) ※交流に役立つもの			

(様式2)

平成29年度出雲市－フィンランド共和国カラヨキ市相互派遣交流事業  
(第17回交流の架け橋事業) 保護者承諾書

平成29年度出雲市－フィンランド共和国カラヨキ市相互派遣交流事業(第17回交流の架け橋事業)実施要綱及び団員募集要領の内容を理解し、下記注意事項をよく守り、  
(生徒氏名)が派遣団員として参加することを承諾します。

記

注意事項

派遣期間中は、原則として個人的な行動は認められない。  
事前研修及び派遣期間中に生じた負傷、疾病については、自己責任とする。

平成29年 月 日

保護者(住所)

(氏名) 印

(連絡先)

生徒(氏名)

出雲市長 様

NPO法人出雲フィンランド協会 理事長 様

(様式 3)

平成 年 月 日

出雲市長 長岡秀人様

NPO法人出雲フィンランド協会

理事長 神田善満様

中学校

校長

印

## 推薦状

平成29年度出雲市－フィンランド共和国カラヨキ市相互派遣交流事業  
(第17回交流の架け橋事業)への参加について、下記の生徒は十分な資質を有し適格  
と認められるので推薦します。

記

ふりがな 氏名			性別
住所			
生年月日	平成 年 月 日		
学年	年 生		

(様式 3)

平成 年 月 日

出雲市長 長岡秀人様

NPO法人出雲フィンランド協会

理事長 神田善満様

高等学校

校長

印

## 推薦状

平成29年度出雲市－フィンランド共和国カラヨキ市相互派遣交流事業  
(第17回交流の架け橋事業)への参加について、下記の生徒は十分な資質を有し適格  
と認められるので推薦します。

記

ふりがな 氏名		性別	
住 所			
生年月日	平成 年 月 日		
所属学科学年	科 年 生		